

やましろ

山代の湯の町二人舌鼓

したつづみ

ゆがに

ほほ

茹で蟹持つ手頬も赤みか

令和五年一月十九日

大中臣正比呂



ゆでがに

山代温泉にじつくりと浸かると、頬も赤くなる。一人で食すズワイの茹蟹も、

二人で舌鼓を打てば、さぞ美味かろう。宿の女将に聞くと、甲羅や足に着く

きせい

あかし

黒い米粒の寄生は、美味しい証だそう。